

北島 さおりさん（平成 25 年 1 月）

相模原市の皆さん、こんにちは。始めまして。JICA 青年海外協力隊の感染症対策員として 2 年間の予定でニカラグア共和国に派遣されている北島さおりと申します。ニカラグアに到着して早 3 ヶ月が経ちました。ここでの経験を相模原市の皆さんとも共有したく、今回のレポートを発信させて頂いています。ニカラグア共和国という国の名前、皆さんは聞いたことがありますか？ニカラグアは中米にあり北はホンデュラス、南はコスタリカという所に位置しています。使用言語はスペイン語で首都はマナグアです。季節は一般的に夏と冬と言われており、一年の殆どが夏という所です。私の滞在しているヒノテガ県はニカラグア北部に位置しており、周りは山に囲まれていてニカラグア国内でも涼しいと言われる場所です。ヒノテガ県はコーヒーの産地として有名であり、コーヒー好きの私としてもとても気に入っている場所です。

私は現在ヒノテガ県の保健省県事務所に籍を置いて活動させてもらっています。中南米に存在するシャーガス病という病気について、住民の方達に知ってもらうのがここでの私の仕事です。シャーガス病という病気はカメムシの一種であるサシガメという病気を通じて感染します。このサシガメは基本的には土壁や日干しレンガで造られた貧しい人の家に住んでいる事が多いと言われていています。一般的にこのような家があるのは、市中心部から離れた田舎です。住民はこのサシガメという虫を見た事はあっても、この虫によって病気に感染するという事までは知らない事が多いのです。近くに住んでいるに、病気については知らない。怖い事だとは思いませんか？



ある村落



元気いっぱい遊ぶ村の子ども達

発展途上国といわれる国は日本と違って貧富の差が大きい様に感じます。お金持ちの人はたくさんお金を持っていて、生活のレベルも日本とそう変わりはない様に思います。その反面、1日3回の食事を取ることが出来ない様な貧しい人達もいます。ですが、田舎の方に行くととても心温かい人達と出会うことがあります。どうみても自分たちが生きていく事に精一杯なはずなのに「ご飯はもう食べたのか？お腹はすいていないか？」と聞いてきて、お米、フリホーレス（豆）、トルティーヤ（とうもろこしから作られているニカラグアでよく食べられる主食）を提供してくれる事があつたりします。私は最初の方はこの人達からご飯をもらっても良いものなのか考えて戸惑いましたが、勧められたものを断る方が逆に相手を傷つけてしまい失礼にあたる、とあるニカラグア人から言われ、今では勧められたものは有難く頂くようにしています。特に田舎では近所づきあいがさかんで、困った時は助け合ったり、と助け合いの精神が高い様に感じます。日本の都会はなんでも物が揃い便利ですが、この様な近所づきあいは多くの場所で失われているのではないのでしょうか。物が少なく不便な事も多いニカラグアですが、このような場面に遭遇すると何が本当の幸せなのか？とよく考えさせられます。こんな人間らしい生活も悪くないなあと思うそんな日々です。

また色々お伝えしていければ、と思います。長文読んで頂きありがとうございました。